

コメント要旨 1

2023/07/28 (金) 13:00～17:15 (オンライン開催)

研究会「インターセクショナリティとジェンダー視点の主流化ーバングラデシュ地域研究から」

ディスカッサント 1：杉江あい (京都大学)

本ワークショップの各報告に対して、バングラデシュ地域研究の観点からコメントを行った。池田報告に対しては、地域研究にインターセクショナリティの視点を主流化しようとした場合に生じうる、研究者の研究目的や専門分野、方法論上の問題、またインターセクショナリティの政治を、社会正義を目指す実践に活かす上での難しさを提起した。上澤報告に対しては、少数民族であるガロとベンガル人の女性たちをめぐる規範の共通性をどのように解釈したらよいかを問いかけた。金澤報告に対しては、障害女性たちの語りにおいて、障害を持つことによる経験が中心になっていることの文脈と背景について質問した。石坂報告に対しては、少数民族であるサンタルのジェンダー規範の具体的な内容に加え、裕福なサンタル女性は賃労働をしていないのかという点について尋ねた。鈴木報告に対しては、抑圧に対する抵抗としてではなく、連帯としてのインターセクショナリティの展望についてさらなる説明を求めた。